

October - December, 2022

**NEWS
LETTER**

COMPASS PROJECT

プロジェクト概要/進捗
補習授業
エンドラインテスト
教育フォーラム



プロジェクト概要/進捗

COMPASS PROJECT

～地域住民と学校共同での
初等レベルの子どもの学習改善～

COMPASS Projectは、コミュニティと学校の協働を通じて初等レベルの子どもの学習成果の改善することを目的とした事業です。主に下記の4つの活動を行っています。

1. 学校運営委員会への民主選挙の導入
2. 住民主体での学校活動計画策定の支援
3. 学校運営員会連合を通じた情報共有・モニタリング体制の確立
4. 算数ワークブックを使った補習授業の実施

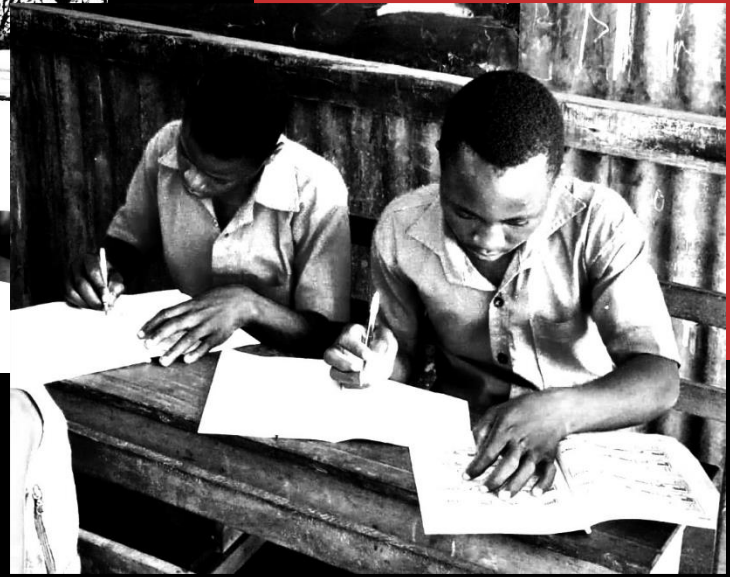


2020年にプロジェクトが開始して以降、学校運営員会委員会の民主選挙、学校計画の策定、学校運営員会連合を通じたモニタリング・情報体制確立と進み、2022年7月からは算数ワークブックを使った補習が始まりました。2022年10月から11月にかけて、プロジェクトの効果を測ることを目的にエンドラインテストを実施しました。その結果、最低限の学力を有する児童の割合が30ポイント以上増加しました。エンドラインテストの結果は、州事務所、郡事務所、学校運営員会連合の代表が集まり11-12月に開催された教育フォーラムで共有されました。

October & November, 2022

補習授業

～算数ワークブックを使用した学力改善～



2022年6月から7月にかけて、州事務所、郡事務所、学校運営委員会連合の代表が集まり第1回教育フォーラムが行われました。そこで、ベースラインテストの結果が共有され、各対象校で子どもたちの学力向上を目指して、補習授業を実施することが決まりました。



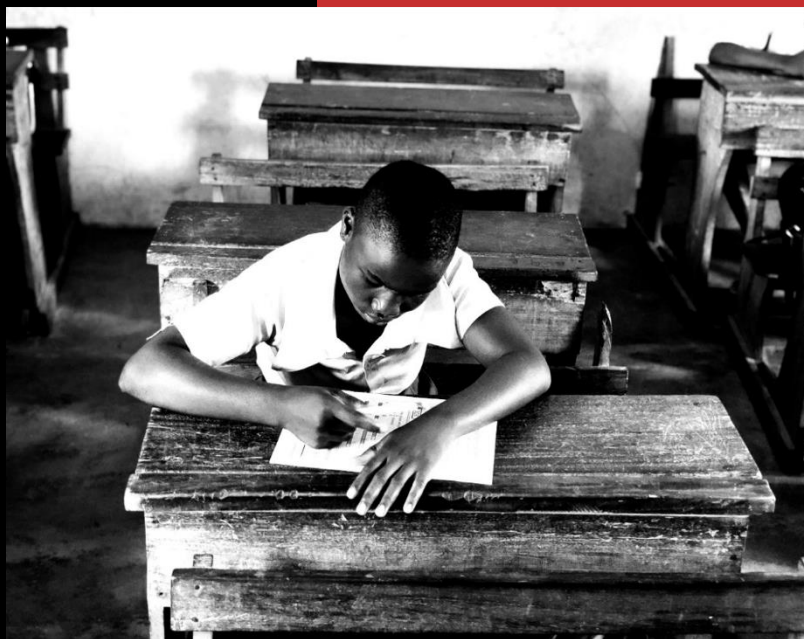
教育フォーラム後、各学校は住民総会を開き、学校計画の中に補習授業が取り入れられ、7月から各学校で順次補習授業が開始しました。補習授業では、子どもたちは、学年ではなく、学習レベルに合わせてクラス分けされ、教師や地域住民がファシリテーターのサポートのもと、自分のペースで算数ワークブックに取り組みました。

正規授業の前後を利用して補習授業を40時間確保するとともに、夏季休暇に20時間の宿題を出し、教育フォーラムで掲げられた11月までに補習時間が合計60時間を超えることを目標に各学校で補習授業が進められました。

児童同士の教え合う様子や、伝統的首主を始めとした地域の有力者の声かけで、地域住民が協力して補習授業の実施をサポートする様子が見られました。

エンドラインテスト

～算数学力改善を測る～



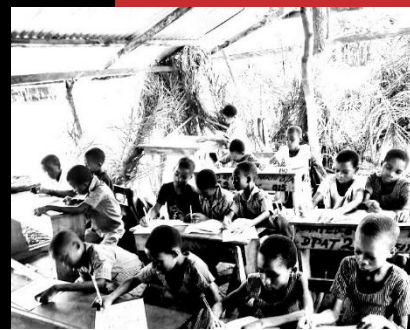
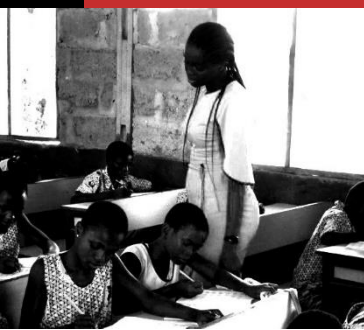
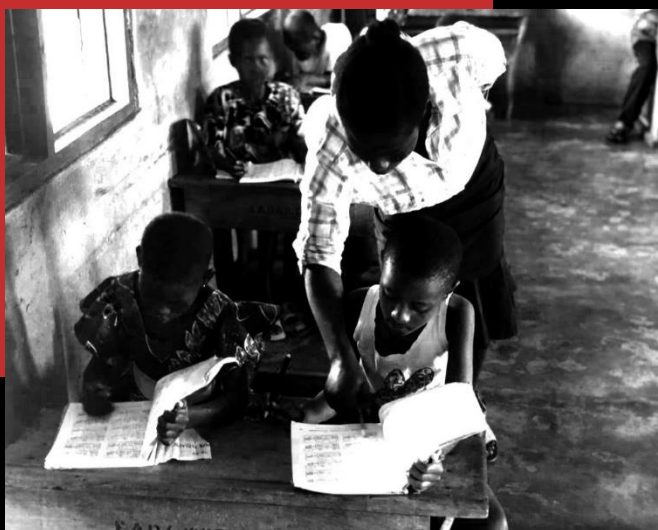
2022年7月から各学校で順次補習授業が開始されました。11月にエンドラインテストが行われました。3か月～4か月程という短い期間にも関わらず、対象となっている3州（イースタン州、ボルタ州、オチ州）すべてで最低限の学力を有する子どもの割合が増加しました。

【各州の改善率】

イースタン州：31.9ポイント（38.1%→70%）

ボルタ州：38.6ポイント（27.8%→66.4%）

オチ州：34.8ポイント（30.5%→65.3%）





November & December, 2022

教育フォーラム

～エンドラインテスト結果の共有
と次年度の活動方針の共有～

Michael Suka



11月から12月にかけて、イースタン州、ボルタ州、オチ州の対象地域3州で第2回地域教育フォーラムが開催されました。エンドラインテストの結果が共有されるとともに、各参加者が子どもの学力向上のために実施すると決意した事項がどの程度実践されたかを振り返る機会となりました。

州事務所より次年度の活動方針の提案があり、決意した事項の振り返りももとの、各参加者が次年度の実施する取り組みを決めました。

また、GALOP校の代表者を各郡から招待し、COMPASSの活動を知ってもらうとともに、SMC連合の代表者が参加するこの期間を利用して、SMC連合の役割や活動実施の流れについてのリフレッシュ研修を実施し、SMC連合の活動の活発化やGALOP校のSMC連合への参加を促しました。

